

言葉の星座 (いろいろな慣用句)

1

① 体の部分を表す言葉を入れて、文章を完成しましょう。

① 気に入らないことがあると、すぐ **腹** を立てる。

② みんなからほめられて、弟は **鼻** が高い。

③ つい **口** がすべって、しゃべってしまった。

④ 青森に行ったついでに、北海道まで **足** をのばした。

⑤ 弟は、なき出すと、ぼくの **手** に余る。

② の動物の名を入れて、意味に合った慣用句にしましょう。

① ほんのわずかであること。↓ **すずめ** のなみだ。

② 気がぴったり合う。↓ **馬** が合う。

③ 非常にいそがしい。↓ **ねこ** の手も借りたい。

④ なんとなく、気に入らない。↓ **虫** が好かない。

⑤ 進み具合がいかにもおそいこと。↓ **牛** の歩み。

ねこ・牛・すずめ・虫・馬

言葉の星座 (いろいろな慣用句)

2

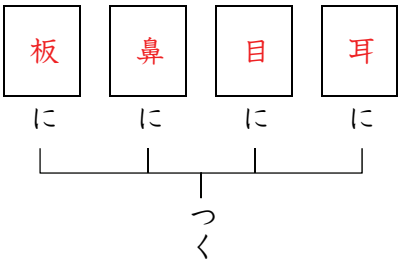
① 意味に合うように、下の [] からあてはまる言葉を選び、慣用句を作りましよう。

① 声や音が、わすれられない。

② よく目だつ。

③ あきあきして、いやになる。

④ 地位や身なりなどがびったり合う。



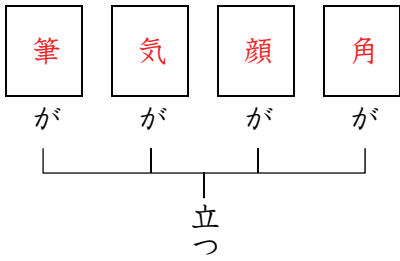
目 名 鼻 耳 板

① 人との関係がおだやかでなくなる。

② めいよが保たれる。

③ 気持ちがいらいらする。

④ 文章を書くのがうまい。



顔 気 角 熱 筆

② 右の慣用句の中から一つを選び、それを使った文を作りましよう。

ちよっとした言葉づかいのちがいで、角が立つことがあります。

言葉の星座 (いろいろな慣用句)

3

① 意味に合うように から当てはまる言葉を選び、慣用句を作りましょう。

- ・ わきから口を出して、じやまをする。
横やり
を入れる。
- ・ へりくだった態度をとる。
下手
に出る。
- ・ 努力して手に入れたものを失う。
棒
にふる。
- ・ 非常にくやしがる。
地だんだ
をふむ。
- ・ 心から賛成する。
もろ手
をあげる。
- ・ 物事のしめくりがつく。
けり
がつく。
- ・ 先頭に立って、指図をする。
音頭
を取る。
- ・ いいかげんにその場をごまかす。
お茶
をにごす。

棒・もろ手・下手・けり・お茶・音頭・横やり・地だんだ

② 右の慣用句の中から一つを選び、それを使った文を作りましょう。

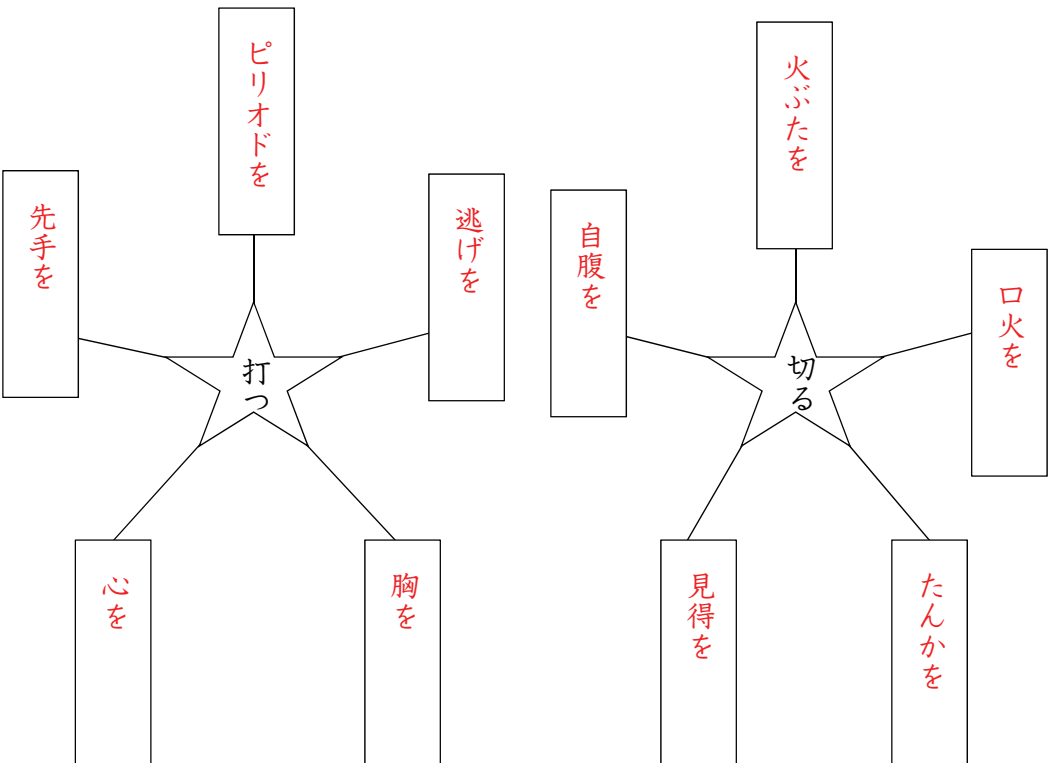
きみの意見に、クラスみんなが、もろ手をあげて賛成しています。

名前

言葉の星座 (いろいろな慣用句)

4

① 下の から言葉を選んで に入れ、「切る」「打つ」の星座を作りましよう。



先手を
火ぶたを
ピリオドを
口火を
逃げを
たんかを
見得を
胸を
自腹を
心を

② 右の慣用句の中から一つを選んで、文を作りましよう。

もういいかげん、この争いにピリオドを打ってほしいものだ。